

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>	シニアワークプログラム事業費	<b>担当部局庁</b>	職業安定局 高齢・障害者雇用対策部	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成10年度(開始)・終了年度未定	<b>担当課室</b>	高齢者雇用事業室	高齢者雇用事業室長 上田国土				
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計雇用助定	<b>施策名</b>	II-1-3 高齢者、障害者、若年者等労働者の特性に応じ、就労支援や失業の防止を図る					
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	雇用保険法第63条第1項第3号	<b>関係する計画、通知等</b>	-					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	同様の世代が段階的に引退過程に入ることによる労働力人口の減少が見込まれる中で、高齢者を有効に活用する観点から、55歳以上の高齢者の多様化する雇用就業ニーズ及び企業における人材ニーズとのマッチングを図り、高齢者の雇用就業を促進することを目的とする。							
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	地域における高齢者の雇用就業の実態を踏まえ、55歳以上の高齢者の技能を向上させ、労働力需要に応じていくことが必要であるため、地域事業主団体等の参画の下、高齢者雇用の有効性に関する啓発、雇用を前提とした技能講習、職場体験、面接会等を一体的に実施するシニアワークプログラム地域事業(以下「地域事業」という。)を各都道府県労働局において民間団体に委託して実施する。また、地域事業受託団体において、効果的かつ効率的な事業運営が全国的に一定の水準で図られるよう、実地指導や集団指導、好事例の収集・提供、事業統計などの業務を中央において民間団体に委託(以下「中央指導事業」という。)して実施する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	2,226	2,207	2,337	3,179	4,211	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	2,226	2,207	2,337	3,179	4,211	
		執行額	2,086	1,971	2,053			
	執行率(%)	93.7%	89.3%	87.8%				
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(24年度)	
	当該事業における技能講習修了者の終了後6ヵ月以内の雇用・就業率75%(21年度～23年度は75%、24年度は78%)		成果実績	%	75.1	79.6	79.4	78.0
			達成度	%	100.1%	106.1%	105.9%	
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	技能講習修了者数		活動実績(当初見込み)	人	31,690	32,101 (32,000)	26,268 (26,000)	— (28,200)
			活動実績(当初見込み)	人	—	—	—	— (16,000)
	職場体験者数		活動実績(当初見込み)	人	—	—	—	— (16,000)
<b>単位当たりコスト</b>	123,452(円/人)		算出根拠	単位当たりのコスト=(本事業における執行額①)÷(雇用・就業者数②) ①本事業における執行額=2,053百万円(23年度執行額) ②技能講習後雇用・就業者に繋がった者数=16,630人(23年度実績)				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	9	10	平成24年度財務省予算執行調査結果を踏まえたこと及び事業の効率化により減額をしているが、今後においては一層事業効果を上げるため、企業・高齢者のニーズを踏まえたよりきめ細かな講習等の実施による事業の充実化によりトータルでは増額になっている。				
	職員旅費	5	12					
	委員等旅費	2	5					
	庁費	4	7					
	高齢者等雇用安定促進事業委託費	3159	4177					
	計	3179	4,211					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 予算の 状況の 状	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	雇用・就業を希望する高齢者は多いため、ニーズが高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	少子・高齢社会が進行する中で、高齢者の就業ニーズに応じた雇用就業の場を提供するための取り組みを図ることは国の責務であるため。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	面接会の会場借料や印刷製本費等、事業実施に係る経費を節減したため。
資金の 流れ、 費目・ 使	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	委託先を企画競争により選定しているため。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	昨年度と同等のコストとなっており、経費節減等により適切な執行に努めているため。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	都道府県労働局において審査のうえ委託契約及び精算をしており、合理的なものとなっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	都道府県労働局において、事業目的に即しているか等審査のうえ委託契約及び精算をしているため。
活動 実績、 成果 実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	雇用・就業率を成果目標とし、毎年度目標を達成しているため。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	技能講習修了者数については、見込みを上回る実績を上げているため。
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	中央指導事業において作成された好事例集等は、地域事業受託団体に配布され事業の効果的な実施に資している。
点 検 結 果	<p>上記を踏まえ検討した結果、一定水準の事業効果が上がっているが、成果実績の微減もあることからより事業を効率的かつ効果的に進めていく必要があると考えられる。平成24年度は、職場体験事業等の追加により事業内容を充実しており、雇用・就業につなげるための一貫したフォローアップを行うスキームを構築し、高齢者の雇用・就業の実現に向け、より効率的かつ効果的な事業運営に努めている。なお、平成25年度予算要求においては、平成24年度財務省予算執行調査結果を踏まえたこと及び事業の効率化による要求減額を見込んでいる一方で、今後においては一層事業効果を上げるため企業・高齢者のニーズを踏まえたよりきめ細かな講習等の実施による事業の充実化による要求増額を見込んでいる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一 部 改 善	シニアワークプログラム事業費は、予算執行調査結果や活動実績、事業効果を勘案・検証し、予算要求に反映。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執 行 等 改 善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算執行調査結果を踏まえたこと及び事業の効率化による減要求。</li> <li>・今後において一層事業効果を上げるため、企業・高齢者のニーズを踏まえたよりきめ細かな講習等の実施による事業の充実化による増要求。</li> </ul>		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
本事業については、平成24年度財務省予算執行調査の対象となっており、上記のとおり本調査結果を踏まえた見直しを行う予定である。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	765	平成23年行政事業レビュー	692

国

厚生労働省  
2,053百万円  
(うち本省事務費0.3百万円)

(シニアワークプログラム事業)  
事業設計、都道府県労働局・全国シルバー人材センター事業協会に対する指導等

【予算示達】

C. 都道府県労働局(47)  
2百万円  
(うち事務費2百万円)

シニアワークプログラム  
検討推進委員会の開催、  
面接会への出席

【予算示達】

都道府県労働局(47)  
2,020百万円

企画競争、委託契約、精算  
報告書の審査等

【企画競争】

B. 全国シルバー人材セン  
ター事業協会  
31百万円

シニアワークプログラム地  
域事業受託者に対する指  
導(実地指導)、研修、事業  
統計等

【企画競争】

A. 民間業者(47)

- ・技能講習の実施
- ・面接会の開催
- ・事業主団体に対する高齢  
者雇用の有効性に関する啓  
発

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を行  
っているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万円)

A. 社団法人神奈川県シルバー人材センター協議会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	委託事業実施にあつての事業費(活動旅費、広報費、会議費、講師謝金、研修費、講習用教材費など)	46			
人件費	委託事業実施にあつての人件費	18			
管理費	委託事業実施にあつての管理費(備品・消耗品費、通信運搬費、光熱水料、借料及び損料、建物借料など)	2			
その他	消費税	3			
計		69	計		0
B. 社団法人全国シルバー人材センター事業協会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	委託事業実施にあつての事業費(指導旅費、通信運搬費、賃借料、印刷製本費など)	16			
人件費	委託事業実施にあつての人件費	10			
管理費	委託事業実施にあつての管理費(通信運搬費、消耗品費、賃借料、雑務費)	4			
その他	消費税	1			
計		31	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 神奈川県シルバー人材センター連合会	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	69	随意契約	/
2	公益社団法人 大阪府シルバー人材センター協議会	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	68	随意契約	/
3	キャリアバンク 株式会社	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	59	随意契約	/
4	社団法人 愛知県シルバー人材センター連合会	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	58	随意契約	/
5	公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	58	随意契約	/
6	公益社団法人 広島県シルバー人材センター連合会	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	56	随意契約	/
7	財団法人 いきいき埼玉	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	54	随意契約	/
8	社団法人 静岡県シルバー人材センター連合会	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	53	随意契約	/
9	社団法人 兵庫県シルバー人材センター協会	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	52	随意契約	/
10	社団法人 千葉県シルバー人材センター連合会	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	52	随意契約	/

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人 全国シルバー人材センター事業協会	シニアワークプログラム事業に係る委託業務	31	随意契約	/
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					